

定期監査報告（要約）



代表監査委員 江原教一

1. 和紙の里関連施設指定管理業務委託料【産業観光課】

（株）東秩父村和紙の里の令和6年度決算に純損失が計上された原因を求め、職員の不足・職員への教育不足・管理者人事の不安定などがあったことが判明いたしました。その中で職員間の連絡の円滑化・自社経理の徹底による早期の経営状況の分析対応への努力、また、「すきふね」では小麦粉の攪拌練上機械を導入しながらも、手打ち仕上げにはこだわりを持ち売上高増加への努力を確認することができました。

現行の和紙の里指定管理業務委託料が「道の駅 和紙の里ひがしちちぶ」の安定的な発展に十分な役割を果たすべく（株）東秩父村和紙の里職員と東秩父村職員とのより一層の協力体制を期待します。なお、現場の責任者・支配人の辞任を受け、（株）東秩父村和紙の里・代表取締役が兼任されておられるとのこと、常態繁忙の職の中、後任者の手配についてご考慮いただきますようお願いいたします。

2. 和紙の里授乳室設置工事【産業観光課】

授乳施設の法的設置の義務はありませんが、子育て中の母親が安心して和紙の里の諸施設を利用できる環境を提供するために必要な施設です。設置場所の変更などを考案した職員の機転及び工事関係者の協力があり、当初予算から大幅に減額し、設置完了できたことを高く評価いたします。

3. 新庁舎屋外倉庫建設工事【総務課】

面積及び構造を外見だけで考慮すると、契約額が非常に高額に思われましたが、ここ数年の建築資材物価及び人件費などの高騰を考慮すると、当初の計画の用途等を吟味し面積を減少させ、また当初計画の庁舎本体工事から分離させ、地元業者への建築工事として発注した措置につきましても、妥当なものであると考えられます。

その後の契約に係る手続き、また工事の進捗に合わせ各種検査を順次実施して引渡しとなっており、工事完了までに指摘事項はありません。

委員会調査報告（要約）

総務産業常任委員会

委員長 梅澤邦夫

【調査目的】

(1) 空き家対策事業について
増加する空き家と村外の空き家物件の需要とのミスマッチの原因を研究して解決策を検討する。

(2) 空き農地対策事業について
耕地整理された農地の耕作放棄地について、実態把握とその解決策を研究する。

【概要と結果】 委員会開催全10回

(1) 空き家の実態調査

委員の地元から空き家の実態調査を行い順次地区を拡大することとした。

安戸・帯沢・川上・萩平・向堀・皆谷・白石地区の調査が終了。

(2) 空き農地の実態調査

耕地整理された安戸・御堂地区の農地を対象として執行部から空き農地の実態の説明を受けたところ、大規模化及び農業法人の設立の動きが見られるとのことであった。また害獣対策・遊休農地対策のため地域おこし協力隊の採用も計画中とのことである。今後農業振興支援事業の先進地の横瀬町(田んぼの会)の視察を検討中。



文教厚生常任委員会

委員長 吉田泰明

【調査目的】

(1) 村指定文化財の追加指定の検討に資する未指定文化財の調査

(2) 文化財等の保存活用継承

(3) 各地域の文化財についての情報収集

【概要と結果】 委員会開催全8回

(1) 大内沢居用観音堂の木造観音立像の現地視察調査

観音堂の老朽化が進んでおり、改修・改築には専門的技術や材料が必要となり高額となることが予想されるため、補助率の大幅な改定が必要と判断する。

(2) 朝日根八幡神社の板碑銘文の現地視察調査
朝日根八幡神社の境内右奥にある末社に6基安置されている。確認はできなかったが4つの銘文があると文献に記されている。

(3) 朝日根八幡神社の傘鉾の保存・修復

明治期に建造され大正9年に改修された三層笠でかつては槻川村一番の秋祭りとなされ、急坂を木組みをきしませながら登っていく姿は勇壮であった。昭和63年頃から曳くことなく社務所及び獅子舞センターの倉庫に保管されているが、村に唯一現存する三層の傘鉾で文化財としての価値があるものと思われる。

